

# 津高同窓会報

発行所  
〒514-0042 津市新町3丁目1-1  
津高等学校  
同窓会事務局  
TEL・FAX 059-229-7331  
共立印刷株式会社

伝統を次の世代へ 「江ノ電」を、存じますか？	2
文化芸術に携わる 働き方改革	3
気候変動問題に取り組み今 神島診療所を見学して	4
特集 活躍する「津高ひと」	5
倉本 一宏 シャープ(坂井) 千穂	6
赤工 隆	7
中尾 早玖	7
松村 直輝	8
第十一次「有造塾」開催 同窓会名簿発行	9
進路状況	10
国内旅行参加者募集案内	10
各地で同窓会開催	10
令和六年度総会・パーティー を終えて	12
令和七年度総会・パーティー のご案内	12

# 縁

同窓会長 飯田 俊司 (昭和36年卒)



会員の皆様には平素より同窓会活動にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年(元日)からマグニチュード七・六の能登半島大地震、日本列島とその周辺を迷走、停滞した歴代最強クラスの台風十号、各地で頻発する集中豪雨などにより大きな人的、物的被害を受けました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われますが、今は「天災は明日にもやってくる」時代と覚悟し、

災害に備えておくことが必要になりました。

同窓会活動で最大の事業は総会ですが、東京、大阪、名古屋各支部総会は出席者の数が年によって変動はあるものの、盛大に開催をされています。一方本部(津)同窓会の出席者は多い時には八〇〇人を超えていましたが、近年は七五〇人前後で推移、令和元年には七一九人、総会を再開した令和五年には五八六八人、今年は六五〇〇人と減少傾向にあります。コロナで中止が続いた間に同窓会の関心が薄れたのではないかと、陳川・三重櫻合計の出席者が平成二十一年に一〇〇〇人を切ってから年々減少し令和元年に一五五人、総会再開後の令和五年に三人、今年は一人名になったことなどあると思います。

国勢調査による三重県の総人口は、平成十七年の約一八七万人をピークに減少の一途を辿り、令和五年十月一日の人口は約一七三万人になりました。また、若年人口(二五歳未満)も平成七年は二六六六千人、令和二年には二二万三千人、令和五年には二〇万一千人と減少傾向が続いています。

や情報を得られるなどの効用があると  
言われます。  
津高同窓会はこれまで会員の団結心と母校愛により多くの出席者の下、盛大に開催されてきました。そして、そ

れを誇りとしてきました。昭和卒会員の高齢化が進む中、平成・令和卒会員には、この伝統をこれからも続けていただきたいと願っています。

若年人口の減少傾向は津高入学者数の減少に繋がり、昭和の中頃からは五〇〇人程度、団塊の世代には一時的に七〇〇人の時もありましたが、平成になると四五〇人から四〇〇人に、二十一年からは三六〇〇人、令和四年からは三三〇〇人に減少、このため同窓会入会者数も減少しています。



くら 絵・朽羅神社(玉城町) 林 健次(昭和63年卒)

タイトル・書 工 藤 雅 俊(昭和45年卒)

# ご挨拶

三重県立津高等学校長 上村 和弘



たしました。母校に赴任し身の引き締まる思いです。本校の歴史と伝統を大切にしながら、さらなる発展に寄与できるよう全力を尽くしてまいります。

会員の皆様には、日頃より本校教育の充実・発展のために、深いご理解と多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は、昭和五十九年卒の同窓で、この度の人事異動により、第二十五代校長として着任い

同窓の皆様が各界で活躍されていることは、生徒たちにとって将来の目指すべき理想として大きな励みとなっています。また、三重をはじめ、東京・大阪・名古屋とこれだけの規模で活動を行っている同窓会は全国各地の総会に参加させていただく中で、参加者全員の共感に満ちた過去と現

在が交錯する濃密な空間であることを感じます。この感覚を現役の生徒にも体感させたいと思ってお願したところ、津会場にてオープンングや募金活動で参加する機会もいただきました。加えて校庭の整備や有造塾の実施など、生徒たちの学習環境の改善や学習活動の充実についても、同窓会に大いに支えられていることに、深く感謝いたしております。

徒全員で取り組むとともに、姉妹校である台湾の高雄市立中山高級中學との相互訪問による交流など学校外での活動も盛んに行っています。私は就任以来、生徒に二つのことを言い続けています。一つは、「挑戦する勇気を持つ」こと、もう一つは「津高の自治を高め生徒が主語の学校づくりを進めていってほしい」といことです。

す。中庭の噴水復活に向けた募金活動も生徒主導で始まりました。生徒たちには、自分たちが思い願う行動すれば変わるという経験を、津高という社会の中で積んでいってほしいと願っています。津高校ではこれからも「自主・自律」の校訓のもと、豊かな心・人間性を育みながら、生徒一人ひとりの「成熟」と「自立」を目指し教育活動を進めてまいります。一方で、この同窓会は、皆さんがどんな時でも津高生に戻れる場所であってほしいと願ってやみません。お近くにお越しの際は学校にお立ち寄りいただきお声をお聞かせください。津高同窓会のみますの発展をお祈り申し上げます。

## 伝統を次の世代へ

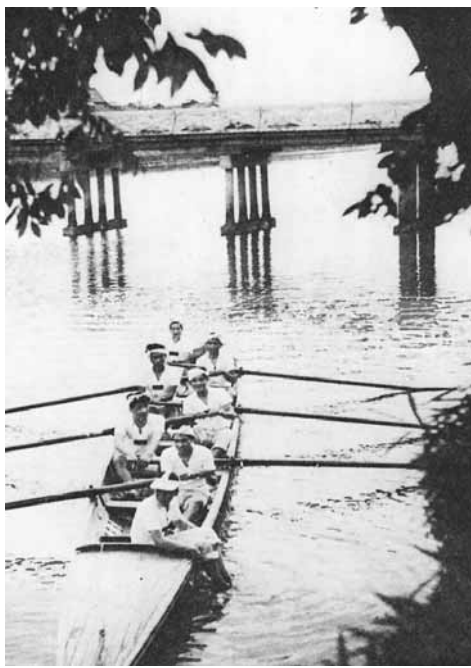
吉川 昭一 (昭和29年卒)

昭和二十六(一九五二年)入学した当時、津高は新校舎を建築中で一年生は柳山の実業高校の校舎の一部を借りて、二・三年生とは別に授業を受けていた。その年の春、校内レガッタがあり、同級生の内田順己君故人と一緒にボート部へ入部した。翌年昭和二十七年秋には、福島県萩野漕艇場で開催された第七回国体に津高ボート部三番漕手として参加した。津駅前と同じく国体

出場する津高女子バレー部と一緒に、プラスチックと応援団の応援に送られ出発した。三年生の春五月、大津市尾花川での第六回の朝日レガッタでは固定席フィックスで決勝まで進み、第三位の成績を上げた。大学でもボート部に入部して、隅田川でシエルフォアのレースに出漕した。卒業後三年余り東京でサラリーマン生活を送ったが、家を継ぐために昭和三十七年に実家へ

戻った。

昭和五十年に大台町の奥伊勢湖にお



昭和28年(1953)5月、朝日レガッタで3位に入賞した時のクルー。

さて、本校は現在、各学年八学級、約九六〇人の生徒が在籍し、目指す学校像として「高い知性と教養を持つリーダーが育つ学校」を掲げ日々の教育活動に取り組んでいます。文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(SHS)」のIV期目の指定を受け、世界を牽引する科学技術人材の育成を目指した探究活動に生

いて、第三〇回国体のボート競技が開催された。津高ボート部現役の強化を目的としてOB達が主体となり津高艇友会以下、艇友会が結成された。私も地元だったので設立当初から参加し、現在に至っている。ここで取り上げた話題は、愛知一中旭ヶ丘漕友会以下、漕友会との交流の歴史である。遠く今を遡ること二〇年前、明治三十八(一九〇五年)、既に両校のボート部クルーが、津の岩田川河口で競漕会を催していたと言つ事実である。この事は愛知一中の端艇部史にはっきりと記されている。その後、昭和五十七(一九八二年)の岩田川レガッタへ漕友会を招待して懇親を深めるなか、両校

目的としてOB達が主体となり津高艇友会以下、艇友会が結成された。私も地元だったので設立当初から参加し、現在に至っている。ここで取り上げた話題は、愛知一中旭ヶ丘漕友会以下、漕友会との交流の歴史である。遠く今を遡ること二〇年前、明治三十八(一九〇五年)、既に両校のボート部クルーが、津の岩田川河口で競漕会を催していたと言つ事実である。この事は愛知一中の端艇部史にはっきりと記されている。その後、昭和五十七(一九八二年)の岩田川レガッタへ漕友会を招待して懇親を深めるなか、両校



私は、一九七六(昭和五十一)年に津高を卒業し中央大学に進学したのち、

# 「江ノ電」をご存じですか？

榎井 進 (昭和51年卒)

現役をも含めた定期戦を開くと言いつ話  
が持ち上がった。何故なら、明治三十  
八年八月に初手合わせをして以来、東  
海地区や全国の大会で好敵手として力  
を競ってきた両校である。昭和十二年  
八月一日第三五回全国中等学校競漕大  
会が、大津市柳ヶ崎一、二〇〇メート  
ルのコースで開催された。くしくも両  
校は予選一回戦で当たり、今でも語り  
草となっているほどの激戦の結果、津  
中がわずか一尺33cmの差で勝利して、  
そのレースが事実上の優勝戦となりな  
んと全国制覇の偉業を成し遂げている。  
県を跨いで、高等学校の現役と〇

Bを含めた定期対抗戦は大変珍しいの  
ではないかと思われる。昭和になって  
再開されて以来四十年あまり、時には  
両校の事情で中止とか延期された年も  
あったが、今日まで二十数回の開催を  
数えている事は、両校及びOB会の信  
頼、結びつきの強い証であると思う。  
言ってみれば、いずれもがかって県立  
一中であったと言つ自負と誇り、それ  
に両校が文武両道を重んじるといつ共  
通点があるためではないだろうか。願  
わくば未来に向かってこの良風が、引  
き継がれ益々発展していくを事を切望  
するものである。

江ノ島電鉄に就職しました。江ノ電と  
言つと、一般的に電車の会社と思われ  
がちですが、実は連結売上の約50%が  
バス事業、鉄道事業は30%、観光事業  
(江の島展望灯台等)が10%、不動産事  
業百貨店賃貸等が10%で、事実上路  
線バス横浜市・鎌倉市・藤沢市の会  
社です。当社の鉄道は一九〇二(明治  
三十五)年の開業ですが、当時江の島  
に向かう客を奪われると思った人力車  
夫たちの猛烈な反対運動があり、賛成  
派の土地を買収し線路を敷設したため  
曲がりかねてしまったのが理由です。  
そして反対派の人力車夫を電車の運転  
士と車掌に採用し、事故が多かったと

記録されています。

その後、日露戦争、二度の世界大戦、  
関東大震災、世界恐慌などに翻弄され、  
倒産の危機が何度かありましたが、昭  
和四十年代の高度経済成長期になると、  
当社沿線は東京・横浜の通勤圏内とし  
て沿線に多数のベッドタウンが造成さ  
れ、当社のバス事業は飛躍的に拡大し  
ました。その当時、業績が低迷してい  
た鉄道路線を廃止しバス路線に変更する  
計画もありました。やがてマスコミの  
影響もあり、加速度的に観光客が増加  
し、現在では鎌倉市と藤沢市(江の島  
の観光客数は合わせて約四〇〇〇万人  
にまで膨張し、オーバーツーリズムと  
揶揄され、コロナ直前の二〇一九(平  
成三十一)年度には、当社の電車は多  
客を収容できずに、年間三八六本の運  
休を出すに至りました。

私は二〇一八年に取締役社長に就任  
しましたが、その直後からマスコミ各  
社の取材を受け「江ノ電は住民と観光  
客のどちらを大切にするのか？」と厳  
しく責め立てられました。対策案とし  
て、電車車両の容積拡大のため、車両  
幅と車両長を拡大する新造車両を計画  
しましたが、車両幅は明治四十年に掘っ  
た極楽寺のトンネル幅により、二五〇  
センチに抑えなければならず、路線バ  
スの二八〇センチより狭い、普通では  
ありえない電車となっております。車  
両長については、カーブが多いことか  
ら、短い車両でカーブをクリアさせ  
ており、車両の連結数を増やすにも住宅

が密集しており買収できず、物理的な  
輸送力増強は不可能との結論に至りま  
した。ちなみに特殊車両のため、一編  
成の製造費用は一〇億円近くかかり、  
JR一般車両の約十倍のコストとなり  
ます。

そのような対策に取り組んでいたさ  
なかにコロナが発生し、鎌倉はオーバ  
ーツーリズムから一転してゴーストタウ  
ンと化しました。二〇二〇(令和二)  
年度と二〇二一年度は約一〇〇億円の  
収益が蒸発し、深刻な経営危機となり  
ました。当時二〇〇名の従業員がお  
り、希望退職を募ったものの、結局全  
従業員の雇用を維持したまま、創業以  
来の未曾有の赤字を出すに至りました。

この危機に際し、従業員に賃金を支払  
うため、不要有価証券の処分や、不採  
算バス路線の大幅カットなど、各事業  
の根本的な見直しと合理化を断行し、  
昨年度は創業以来の最高利益を出すこ  
とができました。

ようやくコロナが終息する中、鎌倉  
では再びオーバーツーリズム現象が発

生しており、国も注目する地域課題と  
なっております。私は本年四月に取締  
役社長を退任し取締役相談役に就任し  
ましたが、引き続き地元行政機関と国  
交省に対して、観光客の回遊エリアの  
分散化、回遊時間帯の拡大化、回遊ル  
ーのコントロール鎌倉からではなく  
藤沢方面から入る逆ルート、それら  
に寄与する運賃政策(出来れば観光客  
を高い運賃、特に休日を高くして、鉄  
道の安全とサービスインフラを維持す  
ることで、住民の運賃抑制が出来れば、  
沿線住民と観光客の共存が可能となる)  
など、提言しております。

まだ暫くは、湘南・鎌倉の特殊な地  
域課題解決に取り組んでいく所存です  
ので、ぜひ皆さんも鎌倉にお越しの際  
は、出来れば平日の午前中に、藤沢  
(江の島方面から入るルート)にご協力  
頂ければ幸いです。現在、江の島島内  
から腰越路面電車通り商店街に魅力  
ある観光コンテンツの創出を検討して  
おりますので、今後とも注目下さい。  
(江ノ島電鉄相談役)

## 文化芸術に携わる

油田 晃 (平成30年卒)

僕は現在、三重県北部の四日市市文  
化会館・三浜文化会館という公共ホー  
ルでアートディレクターをしています。  
二〇二三年一月から四日市市に新設で  
作られた文化芸術に関する専門職員で

して、劇場が市民の皆さんに対してど  
んな事業を展開していくか、どのよう  
な文化芸術のビジョンを持って進めて  
行くかを考えてゆく責任者に当たりま  
す。



津高時代は放送部に所属してコンテンツや文化祭で上映する映像を製作し、同級生達と同人誌を作っていました。鉄道研究会にも所属していました。大学に入って、テレビ局でアルバイトしつつ、演劇というものに出会い、劇団を作り、台本を書き、演出をするという事もするようになりました。テレビ番組の構成台本も書くようになり、どこかに就職するということもせず、フリーランスの立場で映像製作や番組・舞台構成を行う仕事をやってきました。

一方で、二〇〇六年に江戸橋駅前にあった劇団の稽古場だった所を、劇団の解散を機に改装、「津あけぼの座」という五十人も入れれば満席になるいわゆる小劇場を作って現在も運営を行っています。

ですが、大きな出来事が数年前にありました。

新型コロナウィルスの到来は文化芸術にもかなり大きな影響を与え、中でも舞台で行うものに関しては「不要不急の外出を控える」という要請で、劇場やホールが一時閉鎖を行ったり、客席数を減らして上演したりを余儀なくされました。アーティストや舞台業者は仕事が減り、そこから様々な騒動が起ったことは記憶に新しいと思います。制限が解除されて一年半近く経ちますが、コロナ前まで回復はしていません。人口減少や高齢化などでそもそも劇場や文化芸術に関わる人や来場するお客様は減っていくだろうという予測がありましたから、コロナを経てむしろそのスピードは加速したのではないかとさえ思います。

## 働き方改革

奥田 将史 (平成13卒)

高校時代、私は医師である父の影響を受けて自然と医師を志しました。しかし、正直なところ、当時は勉強よりも部活や友人と遊ぶことに夢中で、あまり真剣に進路について考えていなかった。

な回答があるのではないかと思います。アートディレクターに就任して、四日市の方々や文化芸術に携わる方々とやりとりしたり、企画をしたりという日々が続いていますが、「文化芸術に触れたり、鑑賞することを通じて市民がうらおいある生活を過ごす」という目標で活動しています。

昨年、津高校図書館主催の車座トークにお招き頂いて、現役津高生の皆さんに舞台芸術やアートに関わるお話をさせて頂きました。まさか将来そんなことを母校で話す立場になるなんて想像もできなかったのですが、津高時代に様々なことを同級生達と言っていたことが今の僕自身の原点のような気がします。「自主・自律」の精神と出会えたのは大きかったのかも知れません。

引き続き文化芸術を見たり聞いたりする素晴らしさや、体験することの楽しさ・喜びをひとりでも多くの人に伝えていきたいと思っています。是非、劇場に足をお運びくださいませ。

(アートディレクター)

たことを覚えていきます。それでも浪人生活を経て大学に進学し、医師になる道を進むことになりました。消化器外科医として、大病院や公立病院で十七年間勤務し、数多くの患者さんと向

き合ってきました。医師という仕事には大きなやりがいを感じています。

しかし、医師の仕事は過酷な労働環境でもあります。特に外科医は、長時間の手術や緊急対応に追われることが多く、家族との時間を持つのが難しいという現実があります。私も家庭を持ち、共働き家庭として育児に関わる中で、次第に「子供との時間を大切にしたい」という強い思いが芽生えてきました。

そんな時に、ベンチャー企業「株式会社グッドバトン」の代表を務める大学時代の同級生から声をかけてもらいました。グッドバトンでは、病気になる子供を預かる病児保育施設のネットワークサービス「あずかるこちゃん」を展開しています。急い子供が病気になる際、通常の保育園では預かってもらえず、共働きの親は仕事を休むしかない状況に陥ります。病児保育があれば、保護者が仕事を休まずに済むだけでなく、子供も安心してケアを受けられます。

に意義のあるものです。

グッドバトンでは、今後、産後ケアのネットワークサービスの展開も予定しています。出産直後の母親が心身ともに大きな負担を抱えることは周知の事実ですが、産後ケアを適切に受けられる環境はまだまだ整っていないのが現状です。産後ケアが手軽に利用できることで、育児をスタートさせる母親にとって大きな安心感と支援を提供できると確信しています。

消化器外科医として培った冷静さや、複雑なシチュエーションを迅速に判断する能力は、グッドバトンでの事業推進にも大いに役立っています。医療現場での経験は、育児や家族支援という新たな分野でも多くの課題解決に応用できると感じています。

し続ける関係でありたいですね。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

最後に、同窓生の皆さんへ。高校時代を振り返ると、もっと勉強に力を入れていたらと思うこともありますが、その頃の楽しい思い出が今の私を支えていると実感しています。皆さんもそれぞれの場所で活躍されていること

# 気候変動問題に取り組む今

深草 亜悠美 (平成22年卒)



津高での学生時代の三年間は吹奏楽部に所属していました。東京の大学に進学し、進学直後の東京同窓会で挨拶をさせていただいて以来、同窓会に一度も参加できておらず申し訳なく思っていました。会報執筆の依頼をいただき大変ありがたい気持ちです。

ちょうど大学一年生の終わりに当たる二〇一一年三月に東日本大震災と東京電力福島原発事故が発生しました。期末試験が終わっていた頃だったので、すでに帰郷していたか、震災後に帰郷した学生が多かったのを感じています。留学生の多い大学だったので、彼らも急いで帰国して行きました。あまりにもすくなくみんな帰国して行ったので、新学期に戻って来るのか心配になるほどでした。

当時、とにかく原発事故に衝撃を受けたのを覚えています。事故そのものもそうですが、自分が日本のエネルギー政策や原発について無知だったことにも衝撃を受けました。夏に岩手へ震災

ボランティアに行きましたが、原発事故のことがよく理解できていませんでした。元々環境問題に関心があったこともあり、環境・エネルギー問題について知るため、環境NGOでインターンを始めたのが大学二年生の時です。それが、今現在勤めつつNPO Japanとの出会いです。

PEAFriends of the Earthの略称、世界七〇カ国以上に加盟団体(一カ国から一団体が原則)をもつ草の根の環境ネットワークである「ポインターナショナル」に加盟する環境団体です。ネットワークに加盟する団体は共通のミッションや価値観を持っているのですが、活動計画立案や資金獲得等は独立して行ないます。トップダウンで決めず、常に地域のニーズを優先して活動します。いわゆる途上国の加盟団体も多く、グローバルサウスの視点での問題分析や、環境社会問題に対する構造的な原因を追求する姿勢が特徴的です。

現在、私が主に担当しているのは気候変動問題です。工業化による汚染や、人為的な温室効果ガス排出を主因とする温暖化が深刻です。二〇一五年の国連気候変動会議は、気温の上昇幅を産業革命前と比べ1.5℃までに抑える努力をする」と合意しましたが(パリ協定)、地球の平均気温はすでに1℃以上上昇

しています。

気候危機の影響は途上国にとどまらず、日本社会でも深刻になってきました。排出の大きな原因を占めるのが化石燃料の開発と燃焼です。二〇二三年の国連気候変動会議では「化石燃料からの脱却」が合意されました。しかし身の回りを見渡すと、先進国の私たちの生活は毎日利用する電気から、車の

## 神島診療所を見学して

2年 岸江 咲季

人口約三〇〇人、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台にもなった神島。私たちは今回、そんな神島の島民の命を守る鳥羽市立神島診療所を見学させていただきました。

診療所は医師、看護師、事務員の計三名で運営されており、私たちは医師である小泉圭吾先生にへき地医療についてお話を伺いました。小泉先生は「医療の谷間に火を灯す」をモットーとしている自治医科大学を卒業され、その後全国各地で先端医療を学び、現在は離島である神島へき地の医師として第一線で活躍されています。

私は以前からへき地医療に興味があり、この夏自治医科大学のオープンキャンパスにも参加しました。そこでのお話でも現在のへき地医療についてさまざまな知識を得ることができましたが、今回神島の神島を訪れたことで医師と

燃料、服、身の回りの日用品まで化石燃料に深く依存しています。これを転換するのは、とてつもなく大変なことです。

しかし、化石燃料に頼らない持続可能な社会づくりは何十年も前から求められてきたことです。気候危機は深刻になってきており、将来世代を守るためにもこの転換を成し遂げなくてはな

鳥民との繋がり、診療所の雰囲気など現場でしか分からないものに沢山触れることができました。

先ず初めに気になったことは診療所の設備です。エコーや胃カメラなどの基本的な医療機器や、本島や他の離島にいる医師と連携できるオンライン診療の充実など、島民が十分な医療を享受できる体制が整っていました。へき地だからという理由で、少しでも島民が不利益を被ることのないようにするという先生の思いを感じることができました。また、エコーや胃カメラを実際に操作するという貴重な体験もさせていただきました。思ったより扱うのが難しく、これを当たり前のようになれる医師の方々がいかに凄いのかということを身に染みて感じました。

そして私が小泉先生のお話の中で強く印象に残ったことは、へき地の医師

りません。とても難しい問題ですが、途上国の最前線にたたかっている仲間たちや国内でも声をあげている人々と連携して、政策提言活動や足元でできる対策啓発など、さまざまな視点からこの課題に取り組んでいます。興味を抱かれた方はぜひPEAFのウェブサイトをご覧ください。

(国際環境NGO PEAF Japan事務局次長)



としての心構えについてです。先生は「島民が神島で人生を終えることができる」ということを理念として掲げています。神島で生まれ、神島で育ち、神島で最期を迎えるという当たり前の流れを守り、島民が孤独を感じずに生涯を過ごすことができるように支えていく。そのためにオンライン診療の

# 活躍する『津高びと』

## 大河ドラマ「光る君へ」で時代考証を担当

国際日本文化研究センター名誉教授

倉本 一宏(昭和52年卒)

「活躍の内容について、そこに至る経緯を含めてお聞かせ下さい。」

二〇二二年五月十一日に、二〇二四年の大河ドラマが紫式部(藤式部)と藤原道長を主人公として放送することを八社の出版社から執筆依頼のメールが来て知り、十三日にNHKのチーフプロデューサーからメールが来て、時代考証を頼まれました。ありがたかったのは、ほとんどの古代史研究者も一般の方も、このテーマなら時代考証は倉本だろうと考えられていたことです。ご進講「一條天皇の『事蹟』や『御堂関白記』の世界記憶遺産推薦委員をやってはいましたが、これまでの地味な活動や著書の執筆(現在、単著で六〇冊)を

きる体制を作ったり、医療器具が搭載されているドクターカーを使い遠隔診療を可能にしたりするなど、具体的な行動を起こしている先生の姿に強く惹かれました。

小泉先生は他人に軸を置ける人が医師に向いていると言います。へき地では医師一人に何十人、何百人という命がかかっています。自己犠牲を顧みず二十四時間いつでも患者のもとへ駆けつけなければなりません。しかし、自分しにしか助けることができないという強い覚悟を持ち、患者に寄り添いながら毅然とした態度で命と向き合うことは非常にやりがいのあることだと感じました。



なければと思いました。特に印象に残ったことは何ですか。

結局、恋愛パートと史実パートの二本立てみたいなドラマになっていますが、それぞれ楽しんでもらっていると思います。特に史実パートでは古記録を基にした、これまでにない画期的なドラマになっています。

その過程では、制作スタッフの熱意と能力、さらに俳優さんたちの演技力(視線や表情など)に感服しました。最も感慨深かったのは、『御堂関白記』を自筆本どおりに復元して、俳優さんに道長の字に似せて書いたり消したりしてもらった場面です。

今後の目標、展望についてお聞かせ下さい。

今年いっぱいには大河に付き合えなればなりませんが、無事に終わったら引き続き古記録の研究を続けたいと思います。『御堂関白記』『権記』『小石記』

切だと思いました。最後に、私たちが神島を訪問するにあたり協力してくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。

今年話題になったあの「君へ、君へ」。津高の卒業生、現役生の活躍をインタビューしました。



は読み尽くしたので、もっと前の時代のものを読みたいと思っています。

また、私は大学入学以来、古代国家成立史と撰閣政治の二刀流を続けてき

ましたが、こつなつたら古記録を極めて、昔の大先生たちが見なかつた景色を見たいと思っています。

天皇、皇后両陛下下の訪英時、晩餐会に出席

シャープ(坂井) 千穂 (昭和62年卒)

「活躍の内容について、そこに至る経緯を含めてお聞かせ下さい。」

英国では各国要人の公式訪問の際には、バッキンガム宮殿の晩餐会の日に、両国の経済発展の親睦を深めるために、ロンドン市が英国の王室、経済界のトップ、文化界の著名人などを、ギルドホールに招待します。二〇二四年六月二十六日、ロンドン市議会議員を務める友人からお誘いを受け、ロンドン市が主催す

る天皇陛下をお招きする晩餐会に参加しました。

どんな思いで臨みましたか(取り組みましたか)。  
なかなか得られない機会ですので緊張はしましたが、少しでもお役に立てるのであればと、その日はいつもどおり、朝から生活保護を受ける低所得者の経済貧困を緩和するためのアドバイスやサポートをした後、夕方からは、何十億という資産のある人たちが集ま

る空間で、国内の最高級の食材で日本食の風味を加えて作られたコース料理と五種類のワインを頂きながら日中とは全くかけ離れた話題に花が咲きました。特に印象に残ったことは何ですか。

晩餐会に出席したこの日は驚きと感動の連続であると同時に、社会経済格差を目の当たりにした日でもありません。世界が違いくらい、「この貧富の差は、どついたら狭めることができるでしょうか?」と数人の招待客に聞いてみましたが、反応が薄く残念に思いました。  
今後の目標、展望についてお聞かせ下さい。



世界が違いくらいと感じさせられた晩餐会でしたが、私にとっては益々、自治体やチャリティ団体などと連携し

て教育と雇用を通して社会的経済格差を狭めるための活動をしていきたいと再認識する一日となりました。

米テレビ界最高峰とされるエミー賞「SHOGUN 将軍」で音響賞を受賞

赤工 隆 (平成4年卒)

「活躍の内容について、そこに至る経緯を含めてお聞かせ下さい。」

高校卒業後は、名古屋ジュニアアーツに進学。卒業後渡英し、レコーディングエンジニアの専門学校に入りました。帰国後は東京にあるONKIO HANSに入社し、五年後の二〇一一年に現在所属するSONY STUDIOにチーフエンジニアとして加わりました。その後



は多種多様な音楽制作に関わってきましたが、二〇〇六年の「硫黄島からの手紙」をきっかけに海外アフレコに携わる事となり、以降現在まで様々な作品に参加させてもらって今回の受賞に至りました。

どんな思いで臨みましたか(取り組みましたか)。  
今回の十八部門受賞に至った「SHOGUN」は、主演でプロデューサーでもある真田広之さんの長年に渡る時代劇への情熱の結晶だったので、私としても今まで培った技術を出し切って全力を尽くすつもりで臨みました。

特に印象に残ったことは何ですか。

真田さんを筆頭に、「SHOGUN」に携わった全て皆さんの「海外に通用する時代劇を作る」という並々ならぬ思いにとても感銘を受けました。

また、海外制作では蔑ろにされがちな日本語に対し、全てのアフレコに立ち合う真田さんの、日本語時代劇への一切妥協のない強いこだわりに感動すら覚えました。  
そんな作品に携われたことは、自分のキャリアの中で大変光栄でラッキーな事だと思えます。

今後の目標、展望についてお聞かせ下さい。

自分にとって今回の受賞は、この仕事に就いて以来変わらず続けてきた、何でもない作業の積み重ねの結果の一つに過ぎないと思います。  
「SHOGUN」のエミー賞を頂いたことは大変光栄なことですが、受賞せずとも今までに関わらせていただいた全ての作品、アーティストとの経験が今の自分を上げてくれました。  
今後も今の自分に甘んじる事なく技術を向上させ、全ての仕事にリスペクトを持って様々な音楽、映画制作に尽力できたらと思います。

夏の高校野球県大会で選手宣誓

中尾 早 玖 (3年生)

「活躍の内容について、そこに至る経緯を含めてお聞かせ下さい。」

七月に行われた第一〇六回全国高等学校野球選手権三重県大会の開会式で、選手宣誓を務めました。先ずはその経緯について書かせて頂きます。小さい頃から高校野球に対する憧れはあったものの、選手宣誓に関心を持っていた訳ではありませんでした。そんな私が宣誓に興味を持ち、たきっかけは、私が高校二年生の時の夏の大会で宣誓をされた方の姿で

した。簡潔でありながらも言葉の一つ一つに想いがこもっており、改めて「言葉」の持つ力を実感しました。その後、新チームでは主将を任せられ、あっという間に最後の大会の組み合わせ抽選会を迎えました。あまり人前で話すことが得意ではありませんでしたが、人生で一度きりの選手宣誓の機会を逃すまいと思いついて立候補しました。その結果、なんと当選したのです。どんな思いで臨みましたか(取り組みましたか)。



宣誓を実際にするのは私自身でしたが、私だけで作った宣誓文より津高校野球部で考えた宣誓文を読み上げたい

など思ったので、野球部の三年生で集まって案を出し合い、私が最後に文を仕上げることにしました。こうして皆で作上げた宣誓文は、私の一生の宝物です。そして迎えた開会式当日。行きのバスでは屋食が喉を通らないほど緊張してしまい、とても心配でしたが、強い気持ちを持って宣誓に臨みました。終わってみればあっという間で宣誓をしている時の記憶もあまりありません。特に印象に残ったことは何ですか。

開会式が終わって帰宅してから父と母が私の宣誓を見て泣いていたということを知り、本当にやってよかったなと思いました。二日後に行われた夏の大会初戦には、現役の津高生はじめ

OB・OGの方々まで応援に来て頂き、津高校の世を超えたつながりを実感した一日でした。憧れの舞台で、たくさんの方々の応援のもと野球ができたことは一生忘れません。応援ありがとうございました。今後の目標、展望についてお聞かせ下さい。引退してから自由な時間が増えて、野球がいかに私の多くの時間を占めていたかを実感しました。私は大学に進んでも真剣に野球を続けたいと思っています。これからも高校野球で得た多くの経験をいかして、一人の素晴らしい人間になれるように、努力していきます。

縄跳び国際大会に連続出場

松村 直 輝 (2年生)

「活躍の内容について、そこに至る経緯を含めてお聞かせ下さい。」

幼稚園のときから縄跳びが得意で、小学四年生のときに本格的に始めました。初めて競技としての縄跳びを見たときはとにかくすごいと感じ、いっしょに技がたくさんあって、僕もやってみたいと思い、始めました。何年かすると日本代表にもなれるようになり、中一から今年まで国

際大会に四回出場しています。どんな思いで臨みましたか(取り組みましたか)。

国際大会となると「日本人」としての仲間意識が強くなり、自分の出来栄がそのまま日本の評価につながるという責任を感じました。またお金もかかるので、裏方でお世話になっている方の存在を思い、周りのためにも最大限頑張るといふ気持ちをお聞かせ下

た。特に印象に残ったことは何ですか。

た。たくさん海外の選手と交流しましたが、どの国の選手もとてもフレンドリーで尊敬できる人ばかりでした。どこぞの国の人はこうだとかあそここの国の人には悪い人だとか、様々な偏見があると思いますが、海を超えた先にいるのは私達と同じような人なんだなと思えました。ただ、文化などは違うので、縄跳びに関しても国によって跳び方のスタイルがかなりくっきりと分かれています。それがとても面白かったです。今後の目標、展望についてお聞かせ下



た。

最近の縄跳びの評価項目としては、アクロバティックな技やどれだけかっこいいかを高く評価されます。僕は「と」どれだけ難しい技が跳べるか」を

重点的にやっていたのですが、これからは人に見せることを意識した、パフォーマンス要素の大きい縄跳びもできるようにしていきたいと思っています。



『有造塾』のご案内

◆第十一回「有造塾」開催!

第11回 日時 令和七年三月三日(月) 午後
場所 津高等学校 体育館
〈講師〉三重大学 伊藤 正明 学長(昭和48年卒)

津高百三十周年の記念行事の一つに「母校の教壇」がありとても好評でした。当時の榎本和能校長が在校生に各方面で活躍している先輩の話を聞かせたいとの要望が始まりました。津の藩校の有造館に因んで「有造塾」と名付けて、平成二十三年より毎年同窓会が開催しています。

- 第一回 大森徳郎氏 昭和35年卒
株式会社アンソニー元副社長
第二回 浅田剛夫氏 昭和36年卒
井村屋グループ株式会社代表取締役社長
第三回 黒澤良和氏 昭和41年卒
藤田保健衛生大学学長
第四回 松田好旦氏 昭和42年卒
(株)おやつカンパニー代表取締役
第五回 吉川慎二氏 昭和55年卒
(株)ドゥーブル・シエー
第六回 篠原 誠氏 平成3年卒

電通エグゼクティブ・ディレクター
第七回 上野 悟氏 平成2年卒
京大大学院理学研究科附属飛騨天文台
第八回 寺西信一氏 昭和47年卒
兵庫県立大学・静岡大学特任教授
第九回 内田真由美氏 昭和55年卒
アートコーディネーター
第十回 幾原雄一氏 昭和52年卒
東大大学院工学系研究科総合研究機構・教授
(公社)役職は講演当時のままです)

コロナ禍の影響で開催が少し途切れていましたが再開しました。実社会での豊富な貴重な体験や講義を耳にできる幸せは在校生だけでなく同窓生の私達にも興味深く楽しい時間です。都合がよろしければ是非ご参加ください。お待ちしております。

参加者募集

★第十二回学年対抗ゴルフ大会

・第十二回学年対抗ゴルフ大会を、令和七年五月に開催を予定しています。奮ってご参加ください。

※お問い合わせ・お申し込み先

津高同窓会事務局

〇五九一二九一七三三二



同窓会名簿発刊

同窓会名簿『あゝ母校』

令和七年一月発刊

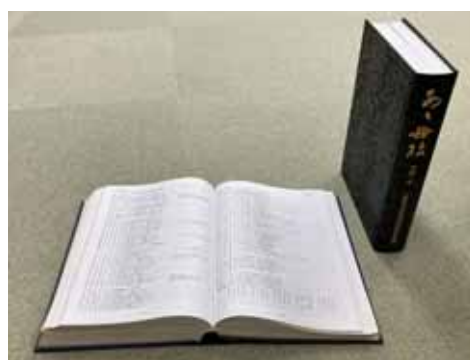
お申し込みください。

TEL 079-284-1138

皆様に、住所確認はがきなどでご協力いただきました名簿を令和七年一月に発刊いたします。刊行にあたり、個人情報保護の精神を十分に尊重するように配慮し、名簿委託会社サフトと共に進めてまいりました。

今回の名簿が母校と同窓会員相互の懸け橋となり、会員相互の結びつきを一層強める絆となり、同窓会活動の活性化につながっていくことを願っております。

- ・一冊 五,五〇〇円(税・送料を含む)
・お申し込み先
令和七年一月十日までに(株)サフトへ



年以上にわたって作成に尽力されてきたもので、「野田暉行のすべて」ともいえる充実したものであり、また瑛里子さんの父君に対する深い愛情と使命が感じられます。サイト内の「MEMORIAL TEXT(思い出の中)」のページには戦時中から津高までが詳述されています。津高同窓会の方は、ぜひご覧ください。

会報59号

「思い出 暉さんのこと」について

十行目から十二行目にある逝去の日の様子については、「野田暉行公式サイト」https://www.tenryu-ki-noda-of-theoaversea.com/ に長女の瑛里子さんが次のように書かれています。

「亡くなる十三時間ほど前、既に完

# 進路状況

進路指導部主事 大丸 薫

平素より本校の教育活動、進路指導にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、新学習指導要領改訂に伴い入試制度が変更され、今年度はその初年度入試になります。入試制度の大きな変更点の一つとして新科目「情報」が共通テストに導入されるようになっています。本校としては、新制度の入試に対応できるよう「情報」への対応だけでなく、生徒たちの希望を叶えることができるようさまざまな取組をしてきました。現三年生にも一四四年の歴史を刻んだこの学び舎で友人とともに切磋琢磨しながら受験を乗り越え、自分の「志」を貫いてほしいと思っております。

(大学合格者数)

	国立	公立	私立	短大	卒業生数
2024 (R6年)	163	27	756	13	308
2023 (R5年)	163	30	783	9	317
2022 (R4年)	193	42	886	11	313
2021 (R3年)	194	26	764	9	359
2020 (R2年)	200	37	859	11	353

昨年度の生徒たちも大変よく努力し、素晴らしい結果を残して本校を巣立っていきました。今後も生徒の希望する進路が実現できるよう、教職員も一丸となって支援して参ります。同窓会の皆様には、今後とも後輩たちに手厚いご支援、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

	立命館	同志社	早稲田	慶應	九州	神戸	大阪	京都	三重・医・医	名古屋	東工大	東京	東大	北海道
2024 (R6年)	91	38	11	1	2	6	6	5	9	74	0	2	4	1
2023 (R5年)	95	45	11	4	2	4	10	7	6	77	0	0	1	2
2022 (R4年)	118	67	3	6	1	13	14	9	6	75	0	0	1	2
2021 (R3年)	84	39	3	5	0	6	8	5	7	80	1	3	0	5
2020 (R2年)	91	53	17	4	2	9	5	7	7	82	2	6	30	3

# 国内旅行参加者募集案内

二〇二五年三月六日(木)〜七日(金)に、一五年ぶりの国内旅行を実施します。前回は、二〇一〇年に足立美術館等の山陰地方でした。今回は、陽春の山陽地区です。二日目に瀬戸内海に浮かぶ、全島美術館といわれる「直島」へ行きます。「ベネッセ」での昼食も楽しみます。一日目は、岡山市(後楽園で昼食、梅の見どころです)。倉敷での自由散策(舟遊びも楽しめ)も予定していますが、これは他に良いところがあれば代えることもできます。宿泊は瀬戸内海を望む。温泉旅館「鷺羽ランドホテル」です。募集人員は先着順三〇名です。ご家族、お友だち



の同伴もOKです。(ただし申込みが多い場合は校友優先) 参加費は四万円前後の予定です。お申込みの締切は一月末ですので、同窓会事務局までFAX(059-229-7331)でお願いします。お名前、卒業年、連絡先をお書き下さい。二月中旬までに、参加者にスケジュール、参加費振込先など詳細をお知らせします。

コロナ禍で、一四〇周年の諸イベントが中止になった中で、久しぶりの計画です。ぜひご参加下さい。

なお、旅行バスは津駅東口を八時出発で予定していますが、関東地区(九時三〇分発)、名古屋地区(一一時一〇分発)、大阪地区(一二時一分発)の新幹線にお乗り下されば岡山駅二

時四七分着で、合流していただけます。国内旅行 世話人

- 田川敏夫(昭和32年卒)
  - 奥田榮子(昭和34年卒)
  - 佐々木とし子(昭和45年卒)
- お問い合わせ先  
同窓会事務局(月・火・水・金)  
(TEL)059-229-7331



# 各地で同窓会開催

## 東京同窓会

本年度の「津高東京同窓会総会・親睦パーティ」は、九月十六日(日)にアルカディア市ヶ谷私学会館で開催され、ほぼ昨年並みの一九三名にご参加いただきました。

総会終了後、津高同窓会・飯田俊司会長と津高・上村和弘校長からご挨拶

をいただきました。飯田会長は熊野古道とサンチャゴ街道の話題を交え一年間の同窓会活動の報告をされ、上村校長は学園行事など近況報告の後、生徒会主導で進められている「噴水復活プロジェクト」を説明し募金協力を呼びかけられました。

引き続き輪番幹事(昭和49・50・61年卒)の司会よりの親睦パーティに移



り、恩師お二人(長瀬修先生、瀬古淳二先生)に在職当時の思い出を語っていただきました。新会員と学生(12名)紹介、大阪同窓会・岸野文郎会長の挨拶・ご発声による乾杯と続き、親睦パーティ開始です。

今年の同窓会では恒例となっていた講演会、演奏会などの出し物は実施せず、もっぱら恩師、同窓生間の交流の時間に充てました。歓談の合間に、ともに社長が卒業生(清水清三郎商店・清水慎一郎様・昭和51年卒、エスビー食品・池村和也様・昭和56年卒)という縁からご協賛いただいた賞品12本(日本酒〈作〉、S&B商品)の大抽



総会後の恒例ミニ講演会は、増田豊トリオによるジャズ演奏。増田(昭和35年卒)さんのピアノとワッドベース、

十月十九日土曜日、日差しがやさしい天候の中で、津高名古屋同窓会総会・懇親会が開催された。

会場は、地下鉄「今池駅」から直結の今池ガスビルの「レストランガス燈」。十一時に参加者九十七名、来賓六名を迎えて、始まった。

### 名古屋同窓会

選会を行いました。スクリーンに当選者の名前が表示されると、会場からは歓声と溜息が聞こえました。

最後に来年度幹事(昭和51・52・62



ドラムのリズムで会場は心地よいスイングの風景。そこへ予告なしで三輪征夫(昭和35年卒)さんのウォークマンが飛入り、会場は一気に最高潮となった。

懇親会に入り食事が進む中で、アトラクション「津高生時代の思い出の場所」。テーブルごとにベスト思い出場所を決定、発表された。

その後全員で校歌を合唱、来年の再会を約束して閉じた。

名古屋同窓会会長・高北幸矢(昭和44年卒)

年卒)の挨拶、校歌斉唱を行い、来年の再会を期してお開きとなりました。

森田和久(昭和51年卒)



第五回大阪同窓会は十一月十日都シテイ大阪天王寺において開催されました。出席者は一〇六名と何とか目標の百名をクリアし、ホッとしたところ

です。

今年は会員講演として、大河ドラマ「光る君へ」の時代考証を担当されて

### 大阪同窓会

いる昭和五十二年卒の倉本一宏先生に東京からリモートでお願いしました。リモートでも写真も交えて熱のこもったまた興味ある講演となりました。

アトラクションは、本部同窓会でも活躍された昭和六十三年卒の「Rock'n Roll(ロックサンズ)」の方々に同窓会向けの音楽を演奏していただき、快い音色に心が和みました。最後はやはりロックサンズの伴奏で校歌、ふるさとをフルコースで熱唱し、これまた久しぶりに母校、故郷への想いがつつつと沸いてきました。これからも若い方を中心に大いに集まっていたらければとお願いをして散会しました。

大阪同窓会事務局長・中山正隆(昭和44年卒)





総会では、物故者への黙祷、会長および校長先生のご挨拶、代議員会の報告が行われました。また今年度は、現役津高生による合唱や、中庭の噴水を復活させるための募金依頼などがあり、

令和六年度陳川・三重櫻・津高同窓会総会・パーティーが『縁々同窓会は人との縁がつながる場所』をテーマに、令和六年六月二十二日、メッセウイング・みえにて六五〇名の方々にご参加いただき開催されました。同窓会が人との縁のつながる場所というのは自明ですが、同窓会の活動が本復することを願い、また原点回帰の思いを込めて、このテーマが設定されました。

中村 英 仁 (平成12年卒)

### 令和六年度総会・パーティーを終えて

## お知らせ

令和七年度 総会・パーティー

日時 令和七年六月二十八日(土)

正午より

場所 メッセウイング・みえ

テーマ 「想 ― 百花繚乱 ―」

担当学年幹事 平成元年卒 (代表 川崎 隆也)

### 令和七年度総会・パーティーのご案内

実行委員長 川崎 隆也 (平成元年卒)

令和七年度津高同窓会総会・パーティーは、平成元年卒と平成13年卒で担当いたします。まずは、令和六年の担当学年の皆様におかれましては、盛会に開催頂き誠にありがとうございました。

令和七年度は、「想」をテーマに、それぞれの時代を彩った思い出や、今に至るまでの歩みを共有し、再び母校

を中心に絆を深めるきっかけにしたいと考えております。

百花繚乱の面々が一堂に会するこの機会、皆様のご参加を心よりお待ちしております。懐かしい顔ぶれとともに心温まる時間をお過ごしいただけましたら、担当学年としておもてなしに努めてまいります。



現役学生のエネルギーを感じる機会となりました。続くパーティーでは、乾杯、先生や先輩へのインタビュー、応

上げます。また来年も笑顔の皆様と再会できることを祈念して、本年のご報告とさせていただきます。

援団OBによる演舞や校歌斉唱が行われ、中でも幹事学年が結成したロックバンドによる演奏では、会場が大いに盛り上がり一体感がもたらされました。さらに当日は、参加者の皆様が「津高生でよかったな、この会場に来てよかったな」と感じられるよう、至る所に工夫を施しました。

不慣れな点も多く、幹事として至らない点もあつたかと存じますが、まずは、盛会裏に終了できましたことを厚く御礼申し上げます。

### 事務局 だより

○会報六十号をお届けします。今回は二万三千八百部の発行です。

○昭和三十四年卒の皆様より、同期会でお持ちだった残金五万円を、全体同窓会活動にご寄付いただきました。

○今回は、名簿発行の年にあたり、物故者掲載はありません。

○住所異動の際は、卒年・名前・新住所をお書きの上、葉書・FAX・メールのいずれかでお知らせください。

○事務局は、月・火・水・金曜日開局しています。

○最新情報は、是非、ホームページをご覧ください。

ホームページ QRコード



津高同窓会のホームページ

<https://tsuko.jp/>

メールアドレス office@tsuko.jp

TEL・FAX 059-229-7331